

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和5年度第2回加東市子ども・子育て会議					
開催日時	令和5年12月25日(月) 午後2時から午後3時45分まで					
開催場所	加東市役所 201会議室					
議長の氏名 (会長 飯野 祐樹) 出席及び欠席委員の氏名 【出席委員】 9人 • 飯野 祐樹 • 橋本 裕介 • 前田 潤子 • 柴崎 謙介 • 井上 益子 • 松本多美子 (代理出席) • 中村 千恵子 • 服部 公一 • 橋本 一 【欠席委員】 4人 • 神田 正 • 本山 早苗 • 津田 雅世 • 福原かをる						
説明のため出席した者の職氏名						
出席した事務局職員の氏名及びその職名 教育委員会 こども未来部 部長 田中 孝明 こども教育課長 下岡 正裕 同副課長 稲岡 めぐみ 同係長 丸山 久美子 同主事 森本 紗知						
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 <議題> <input type="radio"/> ○議事 (1)『加東市子ども・子育てに関する条例』(※仮称)の検討に係るアンケート調査について (資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4、資料1-5) <input type="radio"/> ○その他 <会議結果> <input type="radio"/> ○議事 (1)について 事務局が資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4、資料1-5に基づいて説明を行い、審議しました。 <input type="radio"/> ○その他 事務局が第3期加東市子ども・子育て支援事業計画の策定に関するスケジュールについて説明を行いました。						

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶（会長）</p> <p>3 議事 (1)『加東市子ども・子育てに関する条例』（※仮称）の検討に係るアンケート調査について</p> <p style="text-align: center;">事務局から資料1-1、1-2に基づき説明</p> <p>【質疑応答等】</p> <p>委員長 それでは、保護者用アンケートについてご意見をお願いします。</p> <p>委員 このアンケートを今後のまちづくりに活かすという観点から気づいたことを申し上げます。 まず設問の選択項目だけでは該当しないものもあるため、具体的な意見を聴取することができる記述方式は非常に適切であると考えます。 次に問20の地域の人とのつながりについての設問ですが、私の地域では最近、小中学生が地域の行事に積極的にボランティアとして参加してくれるようになりました。それは、生き生きとする地域の大人の姿を見て、子どもたちも参加してくれるようになったと思います。問20-1にある地域の人とどのような取組を希望するかということに関しては、地域の大人が笑顔で接してくれる場が重要であると思います。 問21の選択項目3の「子どもが参加できるイベントや事業の充実」については、参加よりも体験とした方がより主体的であると思いますので、参加を体験に変更してはどうかと思います。 続いて問21の選択項目1の「子育てに関する情報提供の充実」ですが、子育て世帯は情報が不足していると感じますので、情報提供の充実については私自身も非常に大事であると考えます。 最後に、問21の子育てしやすいまちにするための子育て支援への取組についてですが、若い世代に話を聞いてみると、働く場所が少ないと感じているようです。そのため、働く場所の確保という点も大事であることから、設問の選択項目に就労できる場所があるというのも追加してはどうかと思います。</p> <p>委員長 問21の選択項目3について、参加できるを体験できるに変更してはどうかというご意見を頂戴しました。また、子育ての世帯の方々は情報が少なくて困っているということでしたが、本当に情報が不足しているのか、あるいは情報が溢れていてその中から取捨選択するのに困っているのか、難しい部分ではあります、アンケートを通して分かればいいのかなと思います。 次にアンケートの内容を検討していく中において、難しいと感じたのが問17-1になります。平日の放課後にはとてき、安心していられるところはどこかという設問に対して、選択項目が充足しているのか、あるいは他に追加すべき項目があるのかご意見をお願いします。</p> <p>委員 平日の放課後とは、子どもたちが下校してからのことなのか、又は授業が終わってさようならをしてからを指すのかわかりづらいと思います。基本、小学校では下校してから教室へ行くことはないので、放課後の定義を下校し</p>

	てからとするのであれば、学校の教室や学校の保健室など教室以外の場所は選択項目から削除してはどうでしょうか。
事務局	<p>平日の放課後については、下校してからることを想定していますので、アンケートにそのことを追記します。</p> <p>選択項目についてですが、学校の教室を学校の運動場に修正し、学校の保健室など教室以外の場所については削除します。</p>
委員長	小学校では下校した際に一回家に帰るというのは原則としてあるのでしょうか。
委員	アフタースクールに行く子どももいます。
委員長	例えばアフタースクール利用者の方と利用者ではない方を分ける必要はありますか。
委員	分けなくともいいと思います。
委員長	わかりました。それでは問17-1については、4と5の項目を修正することとします。他に下校してから子どもたちがほっとでき、安心できる場所について思いつくところはありますか。
委員	<p>先程の平日の放課後の定義についてですが、小中学校用のアンケートでは平日の放課後については夕食前までという但し書きがありますが、保護者用アンケートにはないので統一した方がよいかと思います。</p> <p>それと平日の放課後ではないが、学校のない土・日・祝日等であれば、子ども食堂に結構たくさんの子どもが来ているので、子ども食堂もほっとでき、安心できる場所ではないかと思います。</p>
委員長	問18-1になりますが、子ども食堂も加えるということでお願いします。
委員	子ども食堂以外にも支援の必要な子どもたちが放課後に行くような場所があると思いますが、それは児童館になるのでしょうか。
事務局	放課後等デイサービスが考えられますが、選択項目に「その他」も設けていますので、そこに書いていただけたらと思います。
委員長	想定される場所全てを選択項目に挙げるとアンケートに収まり切れないの、「その他」を上手に使っていただくということで対応したいと思います。
委員	資料1-4のプレ調査の回答結果で小学生の保護者と中学生の保護者で回答率に大きな差が生じていましたが、その理由として小学生の保護者については学校で回収されたものが多かったので回答率が上がったのでしょうか。
事務局	中学生の保護者についてはウェブ上の回答のみになりますが、小学生の保護者については紙での回答も含まれています。小学生の保護者の回答者数は合計で79人、そのうち29人が紙で回答いただいています。
委員長	今後アンケートを実施するにあたり、どのようにして回答率を上げていくのかということが課題となりますので工夫が必要になると思います。

委員	保護者用アンケートの4ページ、問10「お子さんが生まれた時、父親は育児休業を取得しましたか」の設問ですが、対象が中学生の保護者の場合、子どもが生まれた当時では父親は育児休業を取得しにくかった気がします。
委員長	<p>小学6年生と中学生の保護者に関しては育児休業制度の取得率が低くなるかもしれません、今回のアンケート調査において対象学年ごとに取得率の違いが見えてくるかなと思います。</p> <p>続いて保護者用アンケートの3ページ、問9の子育て等に関して日常悩んでいることや気になることについてです。考えられる範囲で選択項目を挙げていますが、実態から離れているのではないか、あるいはこういう内容を入れはどうかなど、ご意見を頂戴しながら選択項目を調整していきたいと思います。</p>
委員	あてはまる番号を上位3つ選ぶ方がよいのでしょうか。
委員長	<p>全ての項目が当てはまる方もおられるかもしれません、加東市の重点項目を把握するため、今回のアンケートにおいてはポイントを絞っていくことが重要になるので、3つに絞って回答いただきたいと考えています。</p> <p>続いて保護者用アンケートの6ページの問15-1ですが、ここではお子さん自身が困っていることや悩んでいることをお聞きしたいと考えています。この設問に関しても考えられる範囲で選択項目を挙げていますが、他に何かないかご意見をお願いします。</p>
委員	中学生は部活動に関する悩みもあるのではないかと思います。
委員長	<p>たしかに部活動についても悩みがあるかもしれませんので、選択項目に追加したいと思います。</p> <p>続いて保護者用アンケートの8ページの問19-1についてです。お子さんと外出するときにどのようなことに不便を感じるのかについてご意見をお願いします。</p>
委員	選択項目の3について泣き出し時ではなく泣き出したりした時ではないでしょうか。また、選択項目1「子どもの着替えなどの荷物が多い」については個人的な要因であるため、市には直接関係ないよう思います。
委員長	加東市の資源的な要因なのか若しくは家族の個人的要因なのかについてはもう一度整理する必要があります。
委員	問19-1の選択項目6「話し相手（ママ友・パパ友）や相談相手がない」ですが、外出したときに話し相手や相談相手がないことが外出時に不便と感じことになるのでしょうか。
委員長	相手がいないとするのではなく、相手と気軽に話せる場所がないとしてはどうかと思います。選択項目6については、文言を変更することで調整します。他に何かありますか。
委員	問19-1若しくは問21のどちらに該当するのか迷いましたが、両方とも「その他」の選択があるので問題ないかと思いますが、外出するときに移動手段がないことで不便に感じることはあるかと思います。

委員長	移動手段については自家用車という考え方もありますが、市内の公共交通、いわゆるバスであったり、最近ではレンタルサイクルもあるかと思います。
委員	高齢者であれば地域で運行する自主運行バスや福祉タクシーを利用できますが、以前相談があったケースで妊婦さんが病院へ行くのに交通手段がなくて困られたという話を聞いたことがありますので、そのことも不便を感じる一つではないかと思います。
委員長	問19-1に交通手段を追加する方向で検討したいと思います。最後に全体的なことでも構いませんので他に何かありますか。
委員長	問10-3の育児休業についてですが、選択項目の1と3が同じような内容になっていますので、整理が必要かと思いますがいかがでしょうか。
委員	例えば「育児休業制度がなかった」と「育児休業制度はあったが取得していない」にしてはどうでしょうか。
委員長	それでは、選択項目1は「育児休業制度がなかった」とし、2は「育児休業制度はあったが、取得しなかった」、そして3については「父母どちらかが働いていなかった」に修正する方向で進めさせていただきます。 最後に全体を通して何かありますか。なければ続いて小学生・中学生の子どもアンケートについて事務局から説明をお願いします。
事務局から資料1-3に基づき説明	
委員長	【質疑応答等】 一点確認ですが、アンケートをWEB上で回答する際に、回答内容によってシステム上自動的に次の設問へ誘導することは可能でしょうか。
委員	プレアンケートの際にもGoogleフォームを使って自動的に次の設問へ移るようになしましたので可能です。アンケート対象者が出来るだけシステム上で迷わないようにしていきたいと考えています。
委員長	わかりました。回答間違いが少なくなるよう、そういう仕組みの中で実施されるということです。それではご意見をお願いします。
委員	最後の問15で「あなたが市長だとしたら加東市をどんなまちにしたいと思うか」という設問があり記述方式になっています。プレ調査でも同じ設問があり、資料1-5のプレ調査の回答結果を見ていると、自由記述ではありますが、全ての年代層で「みんなが・・」という書き出しが非常に多いという共通点があります。特色の一つかと思いますが、市長になったらみんなのために何かしないといけないというように訴えているように感じましたので、その回答を今後の施策に反映できるのかなと思いました。 子どもの意見を聴いていただくアンケートとしては、概ねこの内容でよいかと思います。
委員	資料1-5のプレ調査の回答結果で7ページの真ん中になります。市長だとしたらという設問で、中学3年生の生徒が「地域全体の雰囲気をよくしたいから、学校でもやっているあいさつ運動を積極的にする」と回答されていますが、

	挨拶であれば子どももできるし大人もできるので、一番実行しやすいかと思いました。
委員長	小中学生の発想は私たちにない発想があるので、実現可能性というところでは限度がありますが、ヒントを得るという点ではこの設問はよいと思います。
委員	フォームで回答していくとなると、例えば悩んでいることはありますかという設問で「ない」と答えたらそのまま次の設問に流れていくようになるのでしょうか。
事務局	ある場合は追加の設問に移り、ない場合は新しい設問に移ります。
委員	悩み事がなかつたり、市に対しての要望等がなければ満足しているということなのでそれでよいかと思いますが、子どもたちに「ある」「なし」だけを先に聞くと思いつくものがない限り、たぶん「ない」と答えると思います。選択肢が先にあれば、どれに当てはまるか選ぶようになるので、子どもたちが感じていることを吸い上げるような聞き方をした方がよいかと思います。
委員長	例えば資料1-3の1ページ、問5の「おうちの大人の人にしてほしいことはありますか」の設問で「ない」と答えた場合には次の設問に一気に飛んでしまうので、例えば問5に問5-1の1から10の選択肢を加え、選択項目の12を「ない」としてはどうかだと思いますがいかがでしょうか。
委員	「ない」という回答をたくさんほしいというアンケートであれば「ある」「なし」を先に聞いたらしいと思いますが、資料1-5のプレ調査の回答結果を見ていると、選択肢が多くある中で「ない」と答えた人が非常に多かったので疑問に思いました。
委員長	アンケートにおいて子どもたちの素直な気持ちを出してもらうことが重要なポイントになりますので、色々な選択項目を先に出した方が答えやすいかと思います。設問の仕方については検討させていただくということでよろしいでしようか。
事務局	設問の内容を「おうちの大人の人にしてほしいことがこの中にありますか」とし、選択項目を先に見せた上で回答していただき、してほしいことがあればその中から順位をつけてもらう方法があると思います。仮に、してほしいことがなければ「ない」に回答して次の設問に移るようにし、してほしいことはあるが選択項目の中にしてほしいことがなければ、「その他」で自由に記載してもらうようにしてはどうでしょうか。
委員長	先に選択項目を見せてあげて、その中に「ある」「なし」を子どもたちに判断していただく流れでアンケートの内容を調整していきたいと思いますがいかがでしょうか。
委員	今、議論されていることは既にプレ調査で実施している方法であり、選択項目を先に見せたとしても同じ結果になるのではないでしょうか。
委員長	それであれば項目の修正が必要になるのか、若しくは本当に両親にしてほしいことがないのかということになると思いますが、その点についてどのよ

	うな印象を持たれますか。最近のお子さんは、お父さん・お母さんにしてほしいことになると、少し答えにくい部分もあるのでしょうか。
委員	プレ調査を行ったときに、おうちの大人の人にしてほしいことはありますかという設問で、「その他」の欄に「ない」と答えたのはどの程度だったのでしょうか。
事務局	資料1-5のプレ調査の回答結果になりますが、全体328の回答に対して「その他」の欄で「ない」と答えたのは215です。大半の方が「ない」と答えられています。
委員	プレ調査では3分の2の方が「ない」と答えていますが、出来るだけ子どもたちが感じていることを吸い上げるのであれば、個人的には、「ある」「なし」を先に聞くのではなく、プレ調査と同じような聞き方をした方がよいと思います。
委員長	プレ調査では「ない」という回答が多くありましたが、再度プレ調査と同じような聞き方でアンケートを実施し、同じ結果になるのか見てもよいかと思います。そして、もし同じような結果になるのであれば、おうちの大人の人にしてほしいことはないという考え方もできると思いますので、今回はプレ調査のカタチを踏襲しつつ、先程事務局から提案があった「ある」「なし」を一つの項目に入れるような聞き方で問5は調整させていただきます。 次に保護者アンケートでは、あてはまる番号に上位3つまで選択する方法でしたが、子どものアンケートでは順位を付けていただく方法になっていますが、上位3つまで選ぶ方法になるのでしょうか。
事務局	設問の表現が異なっていますが、どちらも順位を付けていくような回答の仕方を想定しています。
委員長	保護者アンケートも順位付けするのであれば、子どもアンケートと同様の文書表現に修正し、問8については部活動のことを追加していただくようお願いします。 それから問10の平日の放課後の説明を「下校してから夕食前まで」とし、保護者アンケートと子どもアンケートの文書表現を統一してください。他に何かありますか。
委員	問7-2の「何がきれいなまちですか」という聞き方は答えにくいので、例えば「どのように」など、もう少しわかりやすい表現に修正する方がよいかと思います。 それから問7-3で「どんな遊びがしたいですか」という遊び限定の問い合わせていますが、子どもたちは友達とおしゃべりして過ごすことが多いので、設問の表現を変えた方が答えやすいと思います。
委員長	少し誘導が強い表現になっているかと思いますので、問7-3に関してはもう少し広く答えられるような表現にするのと、問7-2に関してはもう少しイメージしやすい表現にするということで調整していきます。他に何かありますか。
委員	問12と問13の選択項目で1項目め、2項目め、4項目め、12項目めの文書表現ですが、例えば1項目めと2項目めであれば運動しているを運動したりしているに、4項目めであれば、話しているを話したりしている、12項目めであれば、

	<p>見ていくを見たりしているに修正すべきかと思います。 あと1点ですが、小学3年生については回答する際のタイピングが大変かと思いますので、どのようにサポートするのかを考えた方がよいかと思います。</p>
委員長	プレ調査におけるタイピングの状況についてはどうでしたか。
事務局	プレ調査の自由記述の箇所で、小学3年生のお子さんについてもある程度入力していただけたかなという印象です。
委員長	<p>心配な部分もありますが、プレ調査でもある程度入力していただいたという現状もありますので、それを踏まえてアンケートを実施するということを認めさせていただけたらと思います。</p> <p>最後に、子どもアンケートの1ページ目、回答するときのお願いの1番上、「このアンケートに、お名前を入力しません」は「このアンケートに、お名前は入力しません」に修正していただくようお願いします。</p>
事務局	<p>4 その他 • 第3期加東市子ども・子育て支援事業計画等策定に関するスケジュールについて</p> <p>5 閉会</p> <p>（会議資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 加東市「子ども・子育てに関するアンケート」の実施概要（資料1-1） • 本番用アンケート調査票（案）『保護者用』（資料1-2） • 本番用アンケート調査票（案）『小中学生用』（資料1-3） • 令和5年2月実施 プレ調査「加東市子ども・子育てに関するアンケート」（対象：保護者）回答結果（資料1-4） • 令和5年2月実施 プレ調査「加東市子どものアンケート」（対象：子ども）回答結果（資料1-5）

令和 6 年 2 月 20 日

会長 飯野祐樹